

教育委員会の所管事務に係る
自己点検・評価報告書
(平成 30 年度事業分)

令和元年 11 月

西海市教育委員会

目 次

I	教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	1 ～ 2
II	学識経験者における所見	3 ～ 9
III	自己点検・評価一覧表	
1	教育委員会の活動状況について	10 ～ 13
2	教育委員会が管理・執行する事務について	14 ～ 19
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
1.	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
(1)	能力や個性を伸ばす教育の推進	21 ～ 24
(2)	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	25 ～ 29
(3)	健康で安全な学校生活の実現	30 ～ 34
(4)	教職員の資質の向上	34 ～ 36
(5)	幼児教育の推進	36 ～ 37
2.	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
(1)	学習環境の充実	38 ～ 42
(2)	公民館活動の活性化	42 ～ 44
(3)	人権・同和教育の推進	44 ～ 45
3.	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
(1)	家庭の教育力の向上	46 ～ 47
(2)	青少年の健全育成	47 ～ 50
4.	安心して学べる教育環境の構築	
(1)	安心して望ましい教育環境の実現	51 ～ 52
(2)	安全で快適な教育施設の整備	53 ～ 56
5.	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
(1)	文化・芸術活動の推進	57 ～ 58
(2)	文化財の保存・保護・活用	58 ～ 60
(3)	活力あるスポーツの振興	61 ～ 64
(4)	スポーツ環境の充実	65 ～ 66

I 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

点検評価の概要

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者の知見を活用し、その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することになっています。

そこで、西海市教育委員会においては、平成30年度における所管事務について、西海市教育振興基本計画の施策体系に沿って、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。

外部評価者の意見

点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用にあたっては、次の2名の外部評価者より各分野に関して、所見をいただきました。

有川 政秀 氏（長崎県教育会 常務理事）

岩永 嘉人 氏（長崎県青少年育成県民会議 事務局長）

評価基準

各施策の評価にあたっては、次の評価基準によりAからDのランク付けを行いました。

ランク	評 価 基 準
A	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は目的水準以上であることから、今後も積極的に施策を推進していく。
B	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業がある。今後も概ね現行の方法、手法等により推進していく。
C	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業もある。今後は、課題等を踏まえ、事業の対象や手法について見直しを図りながら展開していく。
D	施策の目的、目標を達成するための課題が多く、各種事業に取り組めないでいる。大幅な事業の見直しを図る。

教育委員会の取組

教育委員の活動に関しましては、委員が可能な限り研修会へ参加するなど、課題・検討事項の解決、研究に積極的に取り組みました。「開かれた教育委員会」を目指し、委員会審議内容の情報公開や情報発信により、積極的に説明責任を果たす必要があり、そのための活動内容の充実や情報発信方法の検討が必要であると考えております。引き続き、市ウェブサイトにて会議開催予定及び議事録を公開するなど、効果的な情報発信に努めてまいります。

一方、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務に関しては、西海市教育方針及びこれに基づく西海市教育振興基本計画の精神並びに施策に沿いながらも、しっかりと市民のニーズに応えているかを検証しつつ、重要事業、優先事業の重点化した取組を行うべきであると考えています。

最後に、平成 28 年度に策定された第二期西海市教育振興基本計画の目標達成のためにもこれまで同様 P D C A (Plan-Do-Check-Action) サイクルの実践を重視しながら、本市教育行政の一層の充実を図ってまいります。

令和元年 11 月

西海市教育委員会

Ⅱ 学識経験者による所見

(有川 政秀 氏)

西海市教育委員会が平成 30 年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、計画で示された事業の評価が、前年度に比べて全体的に高まっていることを感じます。本市教育関係者の真摯な努力に敬意を表します。

本市の取組みについて、その課題と成果について述べます。

学校教育課所管の事業は、前年度同様、一部を除いて高い目標達成率です。限られた予算の中で地道に取り組んでいる関係者の姿が浮かんできます。今後のさらなる進歩に期待します。社会教育課所管の事業は、一部の評価は上がっているものの、学校教育に比べると、達成率がやや低い状況にあります。これは他の市町も同様であると思います。社会教育の充実、地域の人々の支援や協力に支えられています。その地域の人々が有用な人材として成長するには少し時間が必要でしょう。本市教育行政のキーワードの一つ「郷土を担う人材育成」に果たす社会教育の役割はとても大きいと考えます。今後、人材をどう確保・育成するかという課題解決に向けて、関係者の知恵と努力に期待します。

次に、必要な学習環境の整備・充実が進んでいることを高く評価します。新学習指導要領の全面実施に備え、英語教育指導員の増員による小学校外国語教育の充実を図っています。また、小・中学校における高い蔵書率や中学校配置の図書司書による小学校での巡回指導など、読書活動推進計画にそって読書活動が着実に前進・充実していると感じます。さらに、安全で快適な空調設備の設置、老朽化が著しい屋内運動場の改修が進められています。このように、緊急かつ必要なところに予算をかけ、学習環境を整えようとする本市の教育行政の姿勢に大いに賛同します。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べたい。

1. 教育委員会の活動状況について

年間を通じて、学校訪問や学校行事等へ積極的に参加していることに共感と期待を覚えます。このような現場重視は、本市の学校教育の現状や子供・教職員の実態を知るうえで貴重であり、見えにくい様々な情報を得ることができます。それらをもとに、学校教育の一層の充実に寄与されるよう切に願います。

ところで、「生涯にわたり学び続けることができる教育の里づくり」を目指す本市では、子供を育てる学校教育と同様、今日の地域を担う大人を育てる社会教育の果たす役割は大きいと考えます。そういう意味で、年 1 回開催されている社会教育委員との意見交換会は大変有意義であると考えます。今後、社会教育の充実へ向けた社会教育委員の意見や提言を聞く機会を増やすなどして、さらに幅広い活動になるよう希望します。

2. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

(1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

① 能力や個性を伸ばす教育の推進

市内全小・中学校が、「授業実践の視点」を共有し、西海市 A I プランを有効に活用して、授業改善に取り組んでいます。このような市総ぐるみの取組に敬意を表します。これは、本市が重要課題として位置付けている「学力向上」にこたえるものと確信しています。ところ

で、学力の向上には、家庭学習の充実が必要不可欠であると考えます。家庭学習時間の達成率を前年度と比べると、中学校は上がっていますが、小学校は下がっています。「中間目標値」にはまだ遠いと感じます。目標値の見直しを含め、今ある小中連携検討チームの活動や家庭・生徒会との連携プレイをPDCAサイクルを通して見直し、1ランク上の評価まで高まるよう切望します。

② 健康で安全な学校生活の実現

児童生徒の体力テストの結果が全国平均を下回った種目が多かったため、「児童生徒の体力の向上」の評価が前年度より下がったと考えます。しかし、体力の測定値は当日の気候条件や児童生徒の心身の状態、さらに測定の仕方によっても多少違ってくると思われます。今後へ向けて大切なことは、学校が現在行っている体力向上の取組に工夫・改善を加えながら継続指導すること、教育課程外の時間（休み時間、放課後の時間など）を活用することであると考えます。学校の教育活動全体を通じて体力の向上を図られるようお願いしたい。

（2）いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

① 学習環境の充実

前年度との比較で、図書館利用者数や貸出資料数の増加は注目に値します。また、評価が一段階上がった事業が増えています。本施策の進捗状況に確かな進歩を感じます。これは、本施策に関わる一部事業決算額の増加や関係者の努力によるものと思いますが、同時に社会教育の重要性を十分認識し、「教育の里づくり」に努めようとする教育行政の姿勢によるところも大きいと考えます。

② 公民館活動の活性化

前年度より少し減少したとはいえ、年間7万人を超える利用者があり、生涯学習活動の拠点としての公民館はよく機能していると評価します。今後は、「地域づくり・町づくり」につながる「地域に貢献する人づくり」という視点から、子供たちや若者をも巻き込んだ事業を仕組むなど、「今後の公民館の在り方」を探って欲しいと思います。公民館役職員の活躍を期待します。

（3）市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

- 「家庭の教育力の向上」へ向けて、PTA主催の「家庭教育講座」や「PTA研修会」、公民館主催の「家庭教育講座」の開催数が増えています。また、「青少年の健全育成」へ向けて、青少年の交流活動の推進と有害環境から守る取組の両面から進められています。市が財政的・人的支援に努めていることを高く評価します。今後、「家庭・地域の教育力の質的向上」を目指し、各事業の在り方について研究を深められるよう希望します。

（4）安心して学べる教育環境の構築

○ 安心して望ましい教育環境の実現

「放課後子ども教室」や「土曜学習」は、参加延べ児童数、人材バンク登録者ともに、前年度より大きく増加し成果が上がっています。関係者の努力に敬意を表します。しかし、「放課後子ども教室」は地域に余裕教室を持つ市内2校に限られています。また、教育の今日的課題である外国語教育やふるさと教育を実施している「土曜学習」も、移動手段を持たない子供たちは、参加したくても参加できない状況があるのではないのでしょうか。今後、自治公民館など、子供たちの身近な所にスペースを確保し、より多くの子供たちの学びを保障する

ようお願いしたい。

(5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

○ 文化財の保存・保護・活用

平成 30 年度も市内各地で様々な取組がなされ、評価も前年度より上がっています。主要事業である「文化財の保存・活用」は行政主体で進められ、「地域伝統文化の継承」は地域が主体で、行政はそれを支援するというかたちになると思います。しかし、それらは「ふるさと教育」の内容と大きく関わり、総合的な学習の時間などを活用して、取組を深め・広げることができます。学習材や人材の提供、地域の関係団体の支援という立場から、行政、学校、地域が連携・補完し合い、「教育の里」の一層の振興を期待します。

令和元年 11 月 12 日

有川 政 秀

(岩永 嘉人 氏)

西海市教育委員会が平成 30 年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず、総評として、「第二期西海市教育振興基本計画」は平成 21 年度から平成 28 年度までの「西海市教育振興基本計画」の成果と課題を検証し、現在の社会情勢や教育環境を踏まえて昨年度策定され、今年 2 年目を迎えました。「第二期西海市教育振興基本計画」は、西海市教育方針の実現に向けた具体的な取り組みが示され、これからの教育振興の指針となるものです。手法として課題解決に向け、PDCA サイクルによる自己点検・評価に取り組んでいます。報告書は昨年度を踏襲し分かりやすく整理され、検証が細部までおこなわれています。

少子化、高齢化、価値観の多様化、高度情報化、社会のグローバル化は、西海市においても深刻化しています。今後、「第二期西海市教育振興基本計画」をもとに、地域の特色を活かした教育活動が実施され、教育環境の整備や教育活動への支援によって、次代を担う子どもたちの育成へと、つながることを期待しています。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

1. 教育委員会の活動状況について

- 昨年と同様、教育現場に積極的に関わろうとする姿勢が伺えます。今後は報告書にも記載されているように、市ウェブサイトなどを活用し効果的な情報発信をお願いします。

2. 教育委員会が管理・執行する事務について

- 特に問題はありません。

3. 教育委員会が管理・執行を委任する事務について

(1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

① 能力や個性を伸ばす教育の推進

- 家庭学習については昨年同様に評価が低いことが気になります。今年こそ、目標値の見直しを図り、引き続き小・中連携検討チームの活動を充実させ、家庭や生徒会との連携を進めて欲しいと思います。
- 英語教育の充実に力を入れていることが分かります。今後も英語指導員と英語指導助手の効果的な活用法について研究を深めてください。
- コミュニティ・スクールを推進するために西海市学校運営協議会規則を制定したそうですが、西海市旧町を始めとする地域の特性を活かし、西海市の独自性を発揮してください。

② 豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進

- ふるさとを愛する児童生徒を育てることは将来の人材育成にもつながると思います。ふるさとを学ぶ教育の推進について、副教材による授業、「西海学」の展開など各学校の特色を生かした教育活動にしてほしいと思います。そのためにも西海市の人材を掘り起こし、キャリア教育と絡めた人材の活用を期待します。
- 限りある予算のことを考えると、図書館教育の充実のために図書館ボランティアの育成など地域との連携、人材活用が求められます。古い図書を廃棄し児童生徒が喜ぶ新規図書の購入をお願いします。

- 昨年同様、不登校については、誰がどのような理由で不登校になるのか予想がつきません。現状に甘んじることなく相談体制を充実させてください。予算が増加していることに西海市の本気度を感じます。

③ 健康で安全な学校生活の実現

- 西海市は食材の宝庫です。それぞれの学校区にも名産品が数多くあります。学校給食の充実には食育にとどまらず、ふるさとを学ぶ機会となるはずです。地域の特性を活かした学校給食を目指してください。ふるさと学習にもつながるはずです。学校給食共同調理場の適正化については、難しい課題だと思いますが検討をお願いします。

④ 教職員の資質向上

- 昨年同様、教職員の資質向上のための教職員研修が充実していることを評価します。教職員の働き方が問われる時代です。教職員に過度な負担にならないよう配慮し、教職員が一人ひとりの児童生徒と向き合う時間の確保をお願いします。

⑤ 幼児教育の推進

- 幼・保・小だけでなく中・高参加による合同研修を開催し情報交換を充実させることは西海市独自の取り組みだと思います。調整等が難しいと思いますが、内容を検討し継続をお願いします。

(2) いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進

① 学習環境の充実

- 生涯学習の推進について、各地区に社会教育指導員を配置したことは大きな意味があります。地域に根ざした取り組みをするために、地域を知り、地域の人材を活かすことにつながるからです。図書ボランティアの養成講座を開設し、育成を図るとともに、活性化と資質向上を図ったことは意義があると思います。今後も継続的に取り組んでください。
- 老朽化した社会教育施設については、人口が減る中、地域のニーズなどを考慮した効率的で効果的な運営が求められます。

② 公民館活動の活性化

- 公民館活動の活性化は地域人材の活用が鍵となります。そのために社会教育指導員と地域住民をつなぐ仕掛けが必要となります。今後は、指導員の資質向上と指導員間の情報共有などもお願いします。

③ 人権同和教育の推進

- 地域社会や学校教育で人権・同和教育が計画的、継続的におこなわれていることや、いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくりに日々取り組んでいることに敬意を表します。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

① 家庭の教育力の向上

- 家庭の教育力向上の中に子育て支援を施策として取り上げたことが目を引きます。子育て支援は人間形成の核となる部分で、豊かな心の育ちを確かなものとする意味合いがあります。PTAや社会教育団体と連携した子育て支援をお願いします。

② 青少年の健全育成

- 日頃から県民運動である「ココロねっこ運動」の啓発活動に取り組んでいることに、青少年の健全育成の伝統と地域力を感じます。
- 青少年関係団体の活性化と指導者養成は多くの市町の課題です。人口減少の今、指導者の多くは高齢化しています。次世代のリーダー養成は喫緊の課題です。
- メディア環境の問題は多様化・低年齢化しています。対応するためには、常にスキルアップを図る必要があります。計画的、継続した取り組みをお願いします。

(4) 安心して学べる教育環境の構築

① 安心して望ましい教育環境の実現

- 学校の統廃合問題は地域保護者の理解を得ることが大切なのは言うまでもありません。丁寧な対応を望みます。
- 人材バンクの登録を始め「放課後子ども教室」や「土曜学習」の開催が子どもたちの居場所づくりとして活用されていることを評価します。公的施設（公民館）の活用や人材活用など、これからの取り組みに期待します。
- 奨学金制度を見直し利用者が増えているとのこと、奨学金制度の充実は、子どもや家庭に希望を与えます。子どもの貧困が問題になっている現在、一人でも良いので、支援を受けた生徒が西海市に定住することを条件に、賞与型の奨学金制度はできないでしょうか。

② 安心して快適な教育施設の整備

- 財政的に厳しいと予想できますが、児童生徒数減少を考慮し、時代に対応した施設の改修・整備をお願いします。

(5) 地域で支える文化・芸術、スポーツの振興

① 文化・芸術活動の推進

- 文化・芸術活動の推進については、西海市主催事業だけでなく、文化庁を始め様々な公的補助事業があります。外部情報にアンテナを張り積極的に活用することが望まれます。
- 文化活動を支援するのか、文化協会を支援するのかで、事業内容も変わると思います。いずれにせよ、世代ごとのニーズを把握することが大切です。

② 文化財の保存・保護・活用

- 市内にある博物館、資料館の収蔵品を把握し、できればデータベース化してほしいと思います。博物館、資料館の運営については、ハード（施設）よりソフト（運営）の充実が重要です。まずは、資料館及び資料の活用を考えるべきです。また、学芸員の資質向上のために各種研修会参加も配慮してください。
- 文化財は有形、無形、天然物など多岐にわたります。平成 30 年に西海橋が国登録有形文化財に登録されたとのこと、まずは、多くの（特に若い）市民に知ってもらいたいですね。そのために「西海橋―地域を変えた夢の架け橋」を活用してください。西海市の文化財についてどのような活用ができるのか検討し、情報を発信してください。
- 地域伝統文化の継承は担い手不足から継承が難しい状況にあります。伝統芸能を記録として残すことは大切なことです。住民への聞き取り調査、画像（写真）の蒐集、映像化等、後世に残す活動もお願いします。

③ 活力あるスポーツの振興

- 競技人口が減少していく中、生涯スポーツの振興には、組織（体制）、施設設備の充実、指導者養成等、総合的な施策が求められます。生涯スポーツの観点から世代間交流を視野に、各種団体と連携し、生涯スポーツの振興を目指してください。

④ スポーツ環境の充実

- 施設の老朽化は避けて通ることができません。旧町時代の施設を見直し廃止を含め、検討することで、無理のない体制や運営を目指してください。

令和元年 11月12日

岩 永 嘉 人

Ⅲ 自己点検・評価一覧表

1 教育委員会の活動状況について

中項目	小項目	30 年度	29 年度	内容等
1 教育委員会の構成	① 構成数	5 人	5 人	うち、小中学校の保護者 1 名
	② 平均年齢	59 歳	62 歳	46 歳・1 名、58 歳・1 名 59 歳・1 名、62 歳・1 名 70 歳・1 名 (平成 31 年 3 月 31 日現在)
	③ 性別	男性 3 名 女性 2 名	男性 3 名 女性 2 名	
2 教育委員会会議の運営及び情報発信	① 会議開催数	13 回	13 回	定例教育委員会を 12 回、臨時教育委員会を 1 回開催した。
	② 会議傍聴者数	7 人	11 人	教育委員会会議の開催について、市ウェブサイト上に掲載するなど会議開催の周知を図った。
	③ 議事録の公表状況	13 件	13 件	教育委員会会議録を市ウェブサイト で公開した。
3 市長との連携	① 意見交換会の状況	2 回	2 回	7/23、1/24 に開催された総合教育会議において、市長との意見交換を実施した。
4 教育機関等との連携	① 学校への訪問	24 回	26 回	別紙のとおり、24 回の学校訪問を行い、延べ数で 60 名の教育委員の出席があった。
	② その他社会教育施設への訪問	1 回	0 回	社会教育委員と合同で社会教育施設及び社会体育施設の状況を確認し、意見交換を行った。
	③ 長崎県教育委員会との意見交換	2 回	2 回	別紙のとおり、県内で開催された 2 回の研修会に延べ 7 名参加した。
5 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	2 回	3 回	別紙のとおり、県主催の大会に参加した。

幼稚園・小中学校訪問状況

年 月 日	曜日	学 校 名	参加委員数	備 考
平成 30 年 4 月 6 日	金	ときわ台小学校	5 名	開校式
平成 30 年 4 月 9 日	月	市内小学校	5 名	入学式
平成 30 年 4 月 9 日	月	市内中学校	4 名	入学式
平成 30 年 4 月 10 日	火	大島幼稚園	1 名	入園式
平成 30 年 5 月 13 日	日	市内中学校	1 名	体育祭
平成 30 年 6 月 3 日	日	市内小学校	1 名	運動会
平成 30 年 9 月 9 日	日	大崎中学校	1 名	体育祭
平成 30 年 9 月 23 日	日	西彼保育園・天真幼稚園	1 名	運動会
平成 30 年 10 月 2 日	火	雪浦小学校	1 名	運動会
平成 30 年 10 月 8 日	月	大島幼稚園	1 名	運動会
平成 30 年 10 月 19 日	金	大瀬戸小学校	2 名	学校訪問
平成 30 年 10 月 22 日	月	西彼中学校	3 名	学校訪問
平成 30 年 11 月 2 日	金	大瀬戸中学校	4 名	研究発表会
平成 30 年 11 月 14 日	水	西彼北小学校	4 名	学校訪問
平成 30 年 11 月 30 日	金	西海小学校	2 名	研究発表会
平成 31 年 1 月 25 日	金	大崎中学校	4 名	研究発表会
平成 31 年 1 月 28 日	月	ときわ台小学校	4 名	給食週間
平成 31 年 2 月 3 日	日	雪浦小学校	1 名	春を迎える会
平成 31 年 2 月 14 日	木	大島東小学校	2 名	春を迎える会
平成 31 年 2 月 23 日	土	西海中学校	1 名	サイエンスワールド
平成 31 年 3 月 9 日	土	西彼中央幼稚園	1 名	卒園式
平成 31 年 3 月 13 日	水	大島幼稚園	1 名	卒園式
平成 31 年 3 月 14 日	木	市内中学校	5 名	卒業式
平成 31 年 3 月 19 日	火	市内小学校	5 名	卒業式
計			60 名	

その他の活動状況

年 月 日	曜日	内 容	参加委員数	備考
平成 30 年 12 月 20 日	木	社会教育委員との意見交換会	5 名	
計			5 名	

長崎県教育委員会との意見交換

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
平成 30 年 5 月 22 日	火	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	3 名	大村市
平成 30 年 11 月 9 日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	4 名	大村市
計			7 名	

研修会への参加状況

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
平成 30 年 5 月 22 日	火	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	3 名	大村市
平成 30 年 11 月 9 日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	4 名	大村市
計			7 名	

2 教育委員会が管理・執行する事務について

中項目		活動指標	30 年度	29 年度	内容等
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	検討 件数	3 件	3 件	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画策定委員会答申他 2 件について審議した。
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	検討 件数	24 件	36 件	教育委員会規則 9 件、訓令 8 件、告示 7 件について制定改廃を行った。
3	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	検討 件数	1 件	0 件	西海市立平島中学校の復校について検討した。
4	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	検討 件数	3 件	2 件	市内小中学校教職員の人事異動等について検討した。
5	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	検討 件数	1 件	1 件	教育委員会の自己点検・評価について検討した。
6	教育に関する歳入歳出予算及び議会の議決を得るべき事件に関する意見の申し出に関すること	予算 関係 検討 件数	9 件	7 件	当初予算及び補正予算について検討した。
		条例 関係 検討 件数	1 件	7 件	西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正条例の提案について検討した。
		その他 検討 件数	1 件	1 件	教育財産の無償譲渡について検討した。
7	通学区域の決定又は変更に関すること	検討 件数	0 件	0 件	平成 30 年度該当なし。
8	教科用図書の採択及び教材の取扱に対する方針を定めること	検討 件数	1 件	1 件	平成 31 年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科書及び平成 31 年度使用小学校教科書の採択について検討した。

中項目		活動 指標	30 年度	29 年度	内容等
9	県費負担に係る教職員の 任免その他の進退につい て内申すること	検討 件数	0 件	0 件	平成 30 年度該当なし。
10	教育委員会の所管に属す る各種委員会の委員の任 命又は委嘱に関すること	検討 件数	23 件	25 件	西海市いじめ等調査委員会委 員等の各種委員会委員の委嘱 について検討した。
11	市文化財の指定又は解除 に関すること	検討 件数	0 件	1 件	平成 30 年度は該当なし。
12	学校その他の教育機関の 敷地の選定及び変更を決 定すること	検討 件数	0 件	0 件	平成 30 年度は該当なし。
13	1 件 1,000 万円を超える 事業計画に関すること	検討 件数	3 件	2 件	平成 30 年度に実施する大型 事業について検討した。
14	教育財産の取得及び処分 について市長に申出を行 うこと	申出 件数	4 件	11 件	教育財産の取得 3 件、用途廃 止 1 件について検討した。
15	その他	検討 件数	1 件	1 件	教育文化スポーツ功労表彰に ついて検討した。
	計		75 件	98 件	

(参考) 西海市教育委員会議案等一覧

会議	種別	番号	件 名	結果	中項目
第4回 定例会	議案	第27号	西海市いじめ等調査委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第28号	西海市教科書採択協議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第29号	西海市就学支援委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第30号	西海市立小・中学校省令主任の任命について	原案 可決	4
	議案	第31号	西海市奨学生選考委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第32号	教育財産の取得について（教職員住宅用地）	原案 可決	14
	議案	第33号	西海市内高等学校魅力向上支援事業補助金交付要綱の制定について	原案 可決	2
	報告	第2号	平成29年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 承認	13
第5回 定例会	議案	第34号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第35号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第36号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第37号	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画策定委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第38号	西海市社会教育委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第39号	西海市学校・家庭・地域の連携協力推進事業運営委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第40号	西海市立図書館協議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第41号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第42号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第43号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第44号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （財産の無償譲渡について）	原案 可決	6
	議案	第45号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （教育費補正予算第1号）	原案 可決	6
	議案	第46号	西海市立幼稚園保育料徴収規則等の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第47号	西海市子ども体験活動事業費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	取下げ	—
	報告	第3号	平成29年度教育費補正予算（第6号）について	原案 承認	6
	報告	第4号	社会教育課公用車の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて	原案 承認	6
第6回 定例会	議案	第48号	西海市結核対策委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第49号	西海市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第50号	西海市スクールバス運行管理規程の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	報告	第5号	西海市子ども体験活動事業費補助金交付要綱の一部を改正する専決処分の承認について	原案 承認	2

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第7回 定例会	議案	第51号	西海市通学路安全推進会議委員の委嘱及び任命について	原案 可決	10
	議案	第52号	西海市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第53号	西海市立小学校のあり方を考える懇談会（大島・崎戸地区）委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第54号	西海市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
第8回 定例会	議案	第55号	西海市通学路安全推進会議委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第56号	平成31年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科書及び平成31年度使用小学校教科書の採択について	原案 可決	8
第9回 定例会	議案	第57号	平成29年度西海市教育委員会自己点検・評価について	継続 審議	—
	議案	第58号	西海市教育委員会非常勤職員の任用に関する規程等の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	報告	第6号	平成30年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 承認	13
	報告	第7号	平成29年度西海市一般会計（教育費）決算認定について	原案 承認	6
	報告	第8号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第2号）に係る専決処分の承認について	原案 承認	6
第10回 定例会	議案	第59号	西海市立小・中学校省令主任の任命について	原案 可決	4
	議案	第60号	西海市立小学校のあり方を考える懇談会（大島・崎戸地区）委員の委嘱について	原案 可決	10
第11回 定例会	議案	第57号	平成29年度西海市教育委員会自己点検・評価について	原案 可決	5
	議案	第61号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第3号）	原案 可決	6
第12回 定例会	議案	第62号	西海市通学支援員設置規程の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	報告	第9号	平成30年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 承認	13
	報告	第10号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第4号）に係る専決処分の承認について	原案 承認	6
第1回 定例会	議案	第1号	西海市小中学校適正配置等審議会（大崎地区審議会）委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第2号	教育財産の取得について（中浦ジュリアン記念公園用地）	原案 可決	14
	議案	第3号	西海市スポーツリーダーバンク設置要綱の制定について	原案 可決	2
	議案	第4号	平成30年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の決定について	原案 可決	15
	報告	第1号	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画策定委員会の答申について	原案 承認	1
第2回 定例会	議案	第5号	西海市立平島中学校の復校について	原案 可決	3
	議案	第6号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	原案 可決	6
	議案	第7号	西海市立小学校及び中学校処務規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第8号	西海市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
	議案	第 9 号	西海市公民館等の使用及び団体登録に係る様式を定める規則及び西海市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 10 号	西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 11 号	西海市奨学資金貸付基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 12 号	西海市生涯学習ボランティア人材バンク設置要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第 13 号	西海市教育委員会後援等名義使用承認規程等の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第 14 号	西海市スクールバス運行管理規程及び西海市教育委員会マイクロバス管理運行規程の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第 15 号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (教育費補正予算第 5 号)	原案可決	6
	議案	第 16 号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (平成 31 年度教育費予算)	原案可決	6
	議案	第 17 号	西海市文化財指定に関する西海市文化財保護審議会への諮問について	原案可決	1
第 1 回臨時会	議案	第 18 号	平成 31 年度教職員人事異動について	原案可決	4
第 3 回定例会	議案	第 19 号	西海市学校医及び学校歯科医の委嘱について	原案可決	10
	議案	第 20 号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第 21 号	教育財産の取得について (西海地区石田アパート)	原案可決	14
	議案	第 22 号	教育財産の用途廃止について (教職員住宅)	原案可決	14
	議案	第 23 号	西海市学校運営協議会規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 24 号	西海市教職員住宅使用規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第 25 号	西海市内高等学校魅力向上支援事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第 26 号	西海市立小学校及び中学校児童・生徒の通学費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第 27 号	西海市部活動指導員設置規程の制定について	原案可決	2
	議案	第 28 号	西海市通学支援員設置規程の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第 29 号	西海市教育委員会非常勤職員の任用に関する規程等の一部を改正する訓令の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第 30 号	西海市小中学校適正配置等審議会への諮問について	原案可決	1

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	学力の向上					
施策の方向性	全国・県・西海市学力調査の課題分析による授業改善					
成果指標	「授業実践の視点」をふまえた教諭等による研究授業の実施率					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	平成27年2月に作成した「授業実践の視点」や各種学力調査結果に基づいた各学校の学力向上プラン等を基に研究授業を全ての教員が年間1回以上行った。また、教育委員会事務局としても、各学校の校内研修に出向き、指導助言を行うことで授業改善を図った。				評価	A
課題・方向性	学力向上は本市の重要課題である。 西海市AⅠプラン、学びの土台づくり推進事業を有効に活用した授業改善を推進する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進						
主要事業	学力の向上						
施策の方向性	キャリア教育の推進						
成果指標	「夢・あこがれ・志」を育むための具体的な教育活動の実施率						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	—		
事業内容・成果	将来の生き方を視野に入れ、「夢・あこがれ・志」をもった子どもたちを育てるために、計画的な進路指導や職場体験、キャリア教育の充実を図った。					評価	A
課題・方向性	「夢・あこがれ・志」をもった児童生徒を育成するために計画的な進路指導や職場体験に取り組む。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				
主要事業	学力の向上				
施策の方向性	家庭での学習時間と内容の充実				
成果指標	塾等を含む平日の家庭学習時間達成率				
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	小低：－ 小高：－ 中：－ ※小学校高学年は90分以上のデータがないため、60分以上の達成率である	小低：23.4% 小高：61.5% 中：20.5%	小低：21.7% 小高：52.2% 中：34.3% ※小学校高学年は90分以上のデータがないため、60分以上の達成率である	小低：100% 小高：100% 中：100%	－
事業内容・成果	児童生徒の家庭学習の充実に向け、学力向上プロジェクト小・中連携検討チームを中心に対策を考え、各学校とPTAが連携しながら進めている。			評価	C
課題・方向性	小学校では達成率が減少し、中学校では増加した。目標時間を達成している児童生徒はまだ少ない。家庭学習の充実に向けた教職員の意識を高めるとともに、引き続き小・中連携検討チームの活動の推進や、家庭や生徒会と連携した取組を図る。また、児童生徒が将来への目標を持ち、学習意欲を高めるため、キャリア教育の充実を図る。目標値が現状や県全体の指標とも異なることから見直しが必要である。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進						
主要事業	特別支援教育の充実						
施策の方向性	専門機関等との連携による特別支援教育研修の充実						
成果指標	研修の充実度						
	現況値 (H27年度)	H29年度		H30年度		中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	－	99%		99%		100%	－
事業内容・成果	西海市教職員夏季研修（特別支援教育）では市内小・中学校から92名が参加し、長崎大学教授による講義を受けた。また、特別支援教育コーディネーター連絡協議会や特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会、学習支援員・特別支援教育補助員研修会でも特別支援学校や療育支援センター等から講師を招き、研修の充実を図った。					評価	A
課題・方向性	教職員の特別支援教育への理解や経験、指導力は年々高まってきているため、経験や力量に応じた研修のあり方を適宜見直しながら、よりよい研修が行えるように努める。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進						
主要事業	特別支援教育の充実						
施策の方向性	校内支援体制の充実						
成果指標	学習支援員配置充足度						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	85%	100%	100%	100%	23,647		
事業内容・成果	児童生徒の状況やニーズに応じて、担任や特別支援教育コーディネーターと連携しながら、意図的・計画的な校内の支援を可能にするため、学習支援員・特別支援教育補助員を11小学校、4中学校及び大島幼稚園に、計25名を配置した。					評価	A
課題・方向性	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童は年々増加傾向にあり、学校からの要望数も多くなっている。今後も各学校の実態把握に努め、状況等に応じて適切に配置する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進						
主要事業	特別支援教育の充実						
施策の方向性	相談体制の充実						
成果指標	専門機関との連携回数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	11回	12回	12回	12回	－		
事業内容・成果	西海市就学相談会3回、長崎県教育センター巡回教育相談2回、就学支援委員会3回、療育機関就学ガイダンス4回、計12回の連携を行っている。また、各学校においては地域支援事業を活用した、特別支援学校への相談も積極的に行っており相談体制の充実を図ることができた。				評価	A	
課題・方向性	今後も専門機関との連携を積極的に行い、相談体制の充実を図っていく。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	グローバル化に対応した英語教育の推進					
成果指標	長崎県学力調査（中学校英語）で60%以上理解している生徒の割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	—	15%	30%	60%	17, 140	
事業内容・成果	英語を母国語とする外国人5名の英語指導助手により、児童生徒に対し英語教諭又は担任教諭とともに英語指導を行った。生きた英語に触れることで、語学力の向上と国際理解を深めることができた。また、1名の英語教育指導員を小学校に派遣することにより、小学校外国語活動の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	小学校中学年への外国語活動の導入及び高学年の外国語科開始に伴い、更なる英語教育の充実を図るため、英語教育指導員を1名増員して2名とすることを検討したい。また、指標とする長崎県学力調査や英語指導助手のより効果的な活用法について、更に研究を深めていく。成果指標の一部改正も必要である。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進						
主要事業	特色ある学校づくりの推進						
施策の方向性	コミュニティ・スクールの主旨を生かした学校運営の推進						
成果指標	コミュニティ・スクール設置校数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0校	0校	0校	2校	—		
事業内容・成果	地域における共生や信頼などを大切にしつつ発展してきた本市の良さを生かながら、地域・保護者・学校・教育委員会が協力して、コミュニティ・スクールの形成に向けた準備・研究が進んできている。西海市でコミュニティ・スクールを推進するための環境整備に取り組み、西海市学校運営協議会規則を制定した。					評価	B
課題・方向性	大瀬戸小学校をモデル校として、コミュニティ・スクールの設置・充実を推進する。その他の学校においても「地域とともにある、特色ある学校づくり」に向け、準備・研究を進めていく。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進					
主要事業	道徳教育の充実					
施策の方向性	道徳教育に関する研修の推進					
成果指標	教職員を対象とした研修会の実施					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	1回	継続	28	
事業内容・成果	小学校及び特別支援学校小学部では平成30年度から、中学校及び特別支援学校中学部では、平成31年度からの「特別の教科 道徳」の全面実施に向け、大瀬戸地区の文科省指定の研究発表会を実施し、道徳教育について学ぶ機会とした。				評価	A
課題・方向性	今後は、道徳教育全体計画別葉をもとに各学校での取組状況等について、教務主任部会等で情報交換をし、令和元年度の気付きを次年度へ生かす。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	道徳教育の充実						
施策の方向性	研究授業を中心とした授業の質の向上						
成果指標	道徳科の授業研究会を実施している学校の割合						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)		決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%		—	
事業内容・成果	市内17校において、校内で授業研究を行った。					評価	A
課題・方向性	学校公開週間で公開される授業を参観するとともに、各学校での授業研究会を通じて指導を行う。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	道徳教育の充実						
施策の方向性	道徳教育の場の充実						
成果指標	体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させ実施した学校の割合						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	—	100%	100%	100%	—		
事業内容・成果	各学校の教育方針に基づき、ごみ拾いや地域の清掃等のボランティア活動や中学校における職場体験学習等を実施し、道徳的实践力を育んだ。					評価	A
課題・方向性	児童生徒自らが成長を実感でき、これからの目標が見付けられるよう、学校や家庭・地域社会において職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動などの道徳性を養うための体験活動や情操を育む活動を積極的に活用し、道徳的实践力の推進を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進						
施策の方向性	ふるさとについて学ぶための副教材の充実						
成果指標	地域を学ぶ副教材の作成						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	継続	1,274		
事業内容・成果	市内小学校3年生（210人）、市内中学1年生（191人）に配付し、社会科や総合的な学習の時間等で活用することで、郷土を誇り、愛する西海市の子どもの育成に努めた。					評価	A
課題・方向性	自然、環境、歴史、行財政等、最新の情報を収集して、副教材を再編集し、内容の充実を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進						
施策の方向性	各校の特色に応じた「西海学」の展開						
成果指標	創意工夫ある「西海学」を実施した学校の割合						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	100%	78%	84%	継続	556		
事業内容・成果	各学校の実情や地域の特色に応じて内容や実施学年を工夫し、ふるさとについて学ぶ学習を展開し、それに対する支援を行った。小学校13校中、11校が実施した。残り2校も西海市内の施設見学を行ったが、「西海学」としてではなく、「社会科見学」として実施したため、成果に含めていない。					評価	B
課題・方向性	各小学校の創意工夫による「西海学」の展開により、児童が「ふるさと」に対する理解や愛着を深められるようにする。令和元年度は、事業内容を再確認し、全小学校で実施できるようにする。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	読書活動の推進						
施策の方向性	平日の読書習慣の確立						
成果指標	平日の読書時間の割合（１日30分以上）						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	小６：30.2% 中３：34.2%	小６：33.0% 中３：21.3%	小６：37.2% 中３：31.3%	小６：70% 中３：50%	－		
事業内容・成果	学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置による小中学校の読書活動の推進、朝の読書活動の定着等により、小学校の読書時間の割合は増加傾向を示した。					評価	B
課題・方向性	図書主任、学校図書館司書等への指導を通して、家庭読書の啓発を図っていく。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	読書活動の推進						
施策の方向性	蔵書率の充足						
成果指標	「学校図書館図書標準」等による標準冊数達成率						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	小：119.4% 中：99.1%	小：115.9% 中：94.5%	小：118.9% 中：106.4%	小：100% 中：100%	3,728		
事業内容・成果	蔵書率100%を越えた学校から、古い図書の廃棄作業を進め児童生徒に必要な図書の整備を図っており、蔵書率が小学校においては平均で118.9%、中学校においては106.4%となった。					評価	A
課題・方向性	図書の計画的な廃棄と新規購入を行い、読書活動の推進を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	読書活動の推進						
施策の方向性	学校図書館司書等の適正配置と研修の充実						
成果指標	学校図書司書等の配置人数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	10人	10人	10人	継続	8,266		
事業内容・成果	市内小・中学校の読書活動推進のため、中学校に図書司書を配置し、読書に関する指導や環境づくりを行うとともに、近隣小学校を巡回し中学校と同様の指導等を行った。					評価	A
課題・方向性	学校図書館司書の定期的な研修会（月1回）を通して、図書館教育への理解を深め、読書活動のより一層の充実を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進					
主要事業	不登校等の子どもへの支援					
施策の方向性	教育相談体制の整備					
成果指標	不登校児童生徒の改善率					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	50%	33%	48%	95%	5, 274	
事業内容・成果	心の教室相談員を各中学校に配置するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家による教育相談体制を整備し、不登校に対する初期対応及び自立支援を充実させている。不登校の生徒が心の教室に別室登校したり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの関わりから改善傾向が見られたりしている。				評価	B
課題・方向性	不登校の要因が多様化し、学校の問題だけでなく、本人や家庭に要因があることが多く、長期化しやすい。今後も、本人や家庭のケア、専門機関との連携による支援等、積極的に相談体制を充実させていく。目標値も95%ではなく、100%としながら改善していきたい。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進						
主要事業	不登校等の子どもへの支援						
施策の方向性	「適応指導教室」の充実						
成果指標	適応指導教室指導員の研修の受講回数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)		決算額 (千円)	
	2回	3回	3回	3回		1, 989	
事業内容・成果	大島地区に開設している「適応指導教室」における指導・支援の向上を図るため、指導員の研修を充実させた。平成30年度、担当者は、長崎県教育委員会主催の研修1回と長崎県教育センター主催の研修2回を受講した。					評価	A
課題・方向性	今後も、担当者が積極的に研修を受講し、指導・支援の向上を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	健康・安全教育の推進						
施策の方向性	健康教育の推進						
成果指標	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	小：98.7% 中：96.8%	小：98.1% 中：95.2%	小：98.1% 中：98.5%	小：100% 中：100%	—		
事業内容・成果	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合は高い水準を保っている。					評価	A
課題・方向性	は・あ・と・ふ・る運動とつなげながら家庭と連携し、朝ご飯を食べて登校する児童・生徒100%を目指す。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	健康・安全教育の推進						
施策の方向性	健康教育の推進						
成果指標	う歯罹患者の割合						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	小：17.2% 中：39.1%	小：13.9% 中：29.6%	小：14.2% 中：33.8%	小：16% 中：35%	—		
事業内容・成果	う歯罹患者の割合は、目標値より低いが増えている。					評価	A
課題・方向性	市の保健部局等と連携し、フッ化物洗口の取組を支援する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	健康・安全教育の推進						
施策の方向性	安全教育の推進						
成果指標	避難訓練の実施率						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)		決算額 (千円)	
	100%	100%	100%	継続		—	
事業内容・成果	警察・消防等の関係機関と連携し、各学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を実施した。					評価	A
課題・方向性	学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を推進し、関係機関と連携した安全教育に努める。また、令和元年度は文部科学省の指定を受け、西海北小学校を拠点校とした西海中学校区をモデル地域に指定し、「感知する」「回避する」「判断する」力を育てるための防災・安全教育の検討・見直しを行い、その推進を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校体育の充実と体力の向上						
施策の方向性	児童生徒の体力の向上						
成果指標	体力テストの結果において、全国平均を上回った種目の割合						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	46.70%	35.3%	26.6%	50%	—		
事業内容・成果	持久力については、多くの学年で全国平均を上回っている。柔軟性については、関連する補強運動等を体育の授業の準備運動に行うことで改善が見られた。しかし、握力や上体起こし等の種目で全国平均を下回っている種目が多く見られた。				評価	C	
課題・方向性	児童生徒の体力の分析や実態に応じた指導計画及び実践を行う。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現					
主要事業	学校体育の充実と体力の向上					
施策の方向性	部活動指導者の指導力の向上					
成果指標	部活動指導者講習会の実施					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	0回	2回	2回	2回	—	
事業内容・成果	部活動指導や社会体育の指導に携わる者が、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するための部活動等の指導と環境づくりのあり方についての講習を受け、指導力及び資質を高める。8月はメンタルトレーナー、1月はアスレティックトレーナーを講師に招聘し、講義・実技指導を行った。				評価	A
課題・方向性	令和元年度は、アスレティックトレーナーとスポーツ栄養士を招聘し研修会を実施し、引き続き、教職員、部活動指導員及び社会体育の指導に携わる者の指導力及び資質向上を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校給食・食育の充実						
施策の方向性	安全な食材の確保						
成果指標	西海市産の農産物の使用率						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	59.50%	63.8%	67.8%	70%	—		
事業内容・成果	地元の食材を有効に活用することができた。また、市内産米の使用が増え、全体の使用率も増加した。しかし、農作物の確保は天候等に左右されるため、継続が難しい場合もある。					評価	B
課題・方向性	安全な食材を確保するため生産者等と協議し、西海市産の農産物の使用を推進する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校給食・食育の充実						
施策の方向性	食育の推進						
成果指標	学校における食育に関する行事の実施率						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)		決算額 (千円)	
	85.70%	73.6%	72.2%	100%		—	
事業内容・成果	学校において、全職員で食育を推進し、児童生徒が食に関する理解を深めるような実践を行った。					評価	B
課題・方向性	家庭と地域と連携した食に関する指導を充実させ、学校給食の歴史や地域の特産品等について学び、食に関する関心を高める取組を継続する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校給食・食育の充実						
施策の方向性	施設、設備の充実						
成果指標	学校給食施設の大規模改修施工箇所（累計）						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1箇所	0箇所	0箇所	2箇所	－		
事業内容・成果	施設内の老朽化による修繕や備品等の購入および西海調理場法面崩落危険箇所の改修等、小規模な改修は行ったが大規模改修は行わなかった。					評価	B
課題・方向性	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画に基づき大規模改修について検討する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現						
主要事業	学校給食・食育の充実						
施策の方向性	学校給食施設の適正化						
成果指標	学校給食共同調理場の適正化						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	未策定	未策定	策定	計画策定	307		
事業内容・成果	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画策定委員会から平成30年12月21日に西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画の答申を受け、教育委員会及び議会へ報告を行った。					評価	B
課題・方向性	事業費が多額となるため、整備候補地や財源についての検討が必要である。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上						
主要事業	教職員研修の充実						
施策の方向性	定期研修会の充実						
成果指標	定期研修会での充実度割合						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	—	100%	100%	90%	—		
事業内容・成果	各省令主任や養護教諭、栄養教諭及び特別支援コーディネーター等の研修会において、学力向上や児童生徒の心身の成長について考えたり、各校の取組についての情報交換をしたりすることで、担当する校務分掌や学校の活性化につなげることができた。				評価	A	
課題・方向性	上記、事業内容・成果に示した各種研修会を教育課題や学校の実態に応じて更に充実させていく。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上						
主要事業	教職員研修の充実						
施策の方向性	選択制研修会の充実						
成果指標	選択制研修会の実施回数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	4回	5回	5回	5回	—		
事業内容・成果	夏季休業中に、教職員の指導力や資質の向上を目的として、全体研修を2回、選択研修を3回開催した。全体研修では「美しい日本語」「学力向上」の講演会を、選択研修では「外国語・外国語活動研修」「特別支援教育」「保健指導」を実施した。				評価	A	
課題・方向性	本市の教育課題に対応する研修会を実施する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上						
主要事業	校内研修の推進						
施策の方向性	校内研修の充実						
成果指標	校内研修への指導主事及び教科等指導員の派遣実施回数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	52回	61回	75回	50回	—		
事業内容・成果	各学校の研究内容に応じて指導主事を40回派遣し、指導助言を行った。また、学校訪問において、指導主事及び教科等指導員による指導助言を延べ35回実施した。					評価	A
課題・方向性	指導主事や教科等指導員を派遣し、校内研修や学校訪問等で指導助言を行い、教職員の指導力向上を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上						
主要事業	校内研修の推進						
施策の方向性	研究指定校の支援						
成果指標	研究指定校数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	5校	5校	6校	6校	750		
事業内容・成果	文部科学省支援事業及び県・市研究指定校に大瀬戸中、県・市研究指定校に大島東小、市単独の研究指定校に西海小・崎戸小・西海中・大崎中の4校を指定し、各校における研究を深めた。また、研究の成果・課題を市全体で共有できるように、3校において研究発表会を開催した。				評価	A	
課題・方向性	教育課題に対応した研究を行う研究指定校に対する支援を充実し、研究を深めるとともに、その成果・課題を市全体で共有し、各学校の教育力を高める。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進						
主要事業	幼・保・小連携の推進						
施策の方向性	幼稚園・保育所（園）等と小学校とのより一層の連携推進						
成果指標	幼・保・小の教職員間の連携の実施割合						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	—	100%	100%	100%	—		
事業内容・成果	幼稚園・保育園、小学校の教職員同士の情報交換を小学校単位で実施した。					評価	A
課題・方向性	幼稚園・保育園、小学校の職員同士の情報交換を推進し連携を図る。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進						
主要事業	幼・保・小連携の推進						
施策の方向性	幼・保・小の教職員の合同研修の機会の充実						
成果指標	幼・保・小の教職員合同研修の実施回数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1回	0回	1回	継続	—		
事業内容・成果	平成30年度は、特別支援教育研修会を幼・保・小・中・高合同で開催し、情報交換を充実させることができた。					評価	B
課題・方向性	幼稚園・保育園の教職員が参加できるような体制づくりや、共有すべき内容について研究し、実施に向けた準備を今後も継続する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進						
主要事業	幼児教育への支援						
施策の方向性	教職員の資質向上に向けた研修体制確立						
成果指標	研修会の年間実施回数（回）						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0回	0回	0回	1回	－		
事業内容・成果	幼稚園・保育園教職員の資質向上研修については、西九州させば広域都市圏事業「幼児教育センターのサービス提供」へ参加し、平成31年度から年に2回程度の研修が実施できるよう準備を進めた。					評価	B
課題・方向性	西九州させば広域都市圏事業「幼児教育センターのサービス提供」の一環として行われる研修会を幼稚園・保育園に周知するとともに、参加への支援を行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	学びを支援する体制の充実					
成果指標	社会教育講座開設数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	15講座	25講座	24講座	継続	912	
事業内容・成果	各世代のライフステージや現代的課題に対応した学習機会の充実を図るために、各地区に社会教育指導員を配置し、地域に根ざした社会教育講座を実施した。				評価	B
課題・方向性	受講者の固定化が見られるため、若年層を含む幅広い世代の市民が魅力を感じ受講しやすい学習講座の開設や地域のニーズに応じた学習内容の一層の充実を図ることが必要である。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	社会教育施設の適正な維持管理及び有効活用					
成果指標	既存社会教育施設整備事業の進捗率					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	—	年間1施設	年間1施設	年間2施設	22, 356	
事業内容・成果	本郷公民館について、経年使用による劣化箇所（玄関戸改修、防水機能）が改善されるとともに、トイレのバリアフリー化も実現し、施設の長寿命化とあわせ、利便性と安全性に配慮した施設の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	社会教育施設（公民館等）については、老朽化が進んでいるため、施設整備計画に基づき、効率的かつ適正な施設の維持管理に努めていく必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	図書館ネットワークの整備						
施策の方向性	図書システム運用の充実						
成果指標	図書館システムの導入						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	2館 3室	2館 3室	2館 3室	継続	4,686		
事業内容・成果	図書館システム導入により、市内全ての図書館蔵書を把握することができている。その結果、市内間における相互貸借数が微増した。					評価	B
課題・方向性	図書システムを活用した図書館（室）利用について、様々な機会を通じて周知を図り、身近な図書館（室）として利用者にとって利便性のある運営を目指す。また、教育委員会内に設置している図書システムサーバーについては、作動状況点検等の適正管理を行っていく。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	図書館ネットワークの整備						
施策の方向性	クロスねっとを活用したサービスの充実						
成果指標	長崎図書クロスねっとへの検索サービス						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	2館 3室	2館 3室	2館 3室	継続	—		
事業内容・成果	長崎県立長崎図書館を中心としたクロスねっとを活用し、県内外の図書館蔵書の検索や相互貸借が可能となり、サービス提供の拡大に繋がった。					評価	B
課題・方向性	市内の図書館（室）に蔵書がなくても、クロスねっとを活用して県内外の図書館との相互貸借サービスが受けられる旨の周知を行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	図書サービスの向上						
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理						
成果指標	図書館利用者数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	32,879人	33,640人	35,582人	33,500人	－		
事業内容・成果	利用者に親しまれる公立図書館（室）を目指し、館内における季節ごとのレイアウト変更及び周知広報等を含めた事業展開を行った。					評価	A
課題・方向性	来館者数を維持していることから、今後も利用者の多種多様なニーズに柔軟に対応できるよう、各図書館（室）職員の各種研修による資質向上に努める。また、レファレンス機能の充実に努めながら、周知広報等も含めた事業展開を図っていく。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	図書サービスの向上						
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理						
成果指標	貸出資料数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	117,254冊	121,094冊	123,666冊	119,000冊	－		
事業内容・成果	各図書館（室）での貸出に限らず、公立図書館（室）から「身近に本を届ける支援サービス」の一環として、学校や幼稚園、保育所等へ移動図書サービスや団体貸出、学級文庫への貸出を実施した。					評価	A
課題・方向性	今後も各図書館（室）の利用者ニーズに対応した選書、読書相談・レファレンス・読み語りを実施し、各館（室）とも特色のある幅広い蔵書の充実を図りながら読書環境の提供を行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	図書ボランティアの推進					
成果指標	図書ボランティア数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	5人	6人	7人	18人	－	
事業内容・成果	地域に密着した読み語り等の促進に向け、養成講座を開設（21名参加）し、図書ボランティア活動の活性化と資質向上を図った。				評価	B
課題・方向性	読書活動に精通した図書ボランティアを確保するため、今後も継続的に養成講座を開設するとともに、実践活動における体制づくりを構築するための研究を行う必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	子どもの読書活動の充実						
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進						
成果指標	乳児健診時のブックスタート実施率						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	100%	100%	100%	継続	424		
事業内容・成果	子ども読書活動推進計画に基づき、絵本を通した親子のコミュニケーションの機会の提供や、文字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れさせることにより、読書習慣の定着を図った。徐々にではあるが絵本や読み語りについて興味を持ち、各図書館（室）職員へ質問する保護者も増えてきている。					評価	A
課題・方向性	今後も、「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、子どもたちの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供を行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実						
主要事業	子どもの読書活動の充実						
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進						
成果指標	図書館まつりの開催						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1回	1回	1回	継続	19		
事業内容・成果	年に1度開催している『図書館まつり』において、人形劇や絵本の読み語り、紙芝居などを実施して本の世界に触れる機会や読書に親しむ機会を提供した。また、各図書館（室）にて毎月定期的に『おはなし会』を開催する取り組みを併せて行った。				評価	B	
課題・方向性	今後も「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、読書の楽しさや本に親しむ機会を提供するため図書館まつりを継続するとともに、図書ボランティアとの連携も視野に入れ、内容の充実を図っていく必要がある。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上					
施策の方向性	自治公民館への支援					
成果指標	自治公民館モデル事業実践館数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	5館	16館	16館	10館	2, 242	
事業内容・成果	本事業は、モデルテーマに沿った自治公民館活動に対し、申請により補助金を交付している。平成30年度は、16館が本事業を活用し、伝統文化継承事業等、様々な事業を行った。本事業の活用により、自発的な公民館活動の展開と住民協働の地域づくりが推進できた。				評価	A
課題・方向性	本事業を活用した取り組みについては、未活用の館にも情報提供することにより、本事業の更なる積極的な活用について、周知のための広報を行っていく必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化						
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備						
施策の方向性	公民館等における生涯学習活動の支援及び学習機会の充実						
成果指標	公民館利用者数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	69,416人	73,327人	71,572人	71,400人	－		
事業内容・成果	各地区に配置している社会教育指導員を中心に、ライフステージに応じた講座や地域の特色を生かした各種講座を開催した。					評価	A
課題・方向性	今後も、学習者ニーズや住民の要求課題、地域課題を把握しながら、魅力のある多様な学習講座の展開を図る。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化					
成果指標	公民館職員等の年間研修機会回数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	2回	1回	2回	継続	284	
事業内容・成果	県公民館大会では、各公立公民館及び自治公民館からの参加があり、県内の公民館関係との広域的な意見交換や情報共有を図りながら研鑽に努めた。また、県主催の公民館職員研修会やスキルアップ研修等の開催周知を行い、研修の機会提供を行った。				評価	B
課題・方向性	今後も、自主的な公民館活動及び活性化を目指すための人材育成として、公民館役職員を対象にした研修機会や情報提供を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化						
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備						
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化						
成果指標	公民館連絡会議の開催						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1回	1回	1回	継続	—		
事業内容・成果	公立公民館及び各地区公民館長・主事・書記等、公民館役員の連携強化を図るため、連絡会議を開催し、各公民館の事業報告及び事業計画を提示しながら意見交換を行った。また、今後の公民館のあり方を考えることを目的として、実践事例を交えながら、県生涯学習課職員による講話を行った。				評価	B	
課題・方向性	今後も、市内各公民館における課題解消及び公民館活動事業活性の参考となるよう、情報共有及び情報交換ができる場の提供を行う。						

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	人権・同和教育の推進					
主要事業	社会における人権教育の推進					
施策の方向性	人権教育・啓発の推進					
成果指標	人権・同和教育に関する講演会・研修会の参加者延べ数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	531人	421人	346人	558人	423	
事業内容・成果	「西海市人権のつどい」を開催し、人権・同和問題に関する学習の機会を提供し、人権尊重の地域づくりを行った。また、平成30年度の「西海市人権のつどい」の参加者（346人）は前年度（421人）を下回る結果となったが、今後も人権・同和教育への関心度向上を目指し事業を展開する。				評価	B
課題・方向性	今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進を図る。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	学校教育課
主要施策	人権・同和教育の推進					
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進					
施策の方向性	人権・同和教育、平和教育の推進					
成果指標	人権集会、平和集会の実施校の割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	100%	100%	100%	継続	—	
事業内容・成果	全小・中学校で実施した。人権に関する学習では、高齢者とのふれあい集会や知的障害のある方々で構成するプロの和太鼓グループとの交流等を行った。平和学習においては、原爆資料館や被爆遺構の見学、被爆者等の講演などを行った。これらの取組により、人権及び平和についての理解が深まった。				評価	A
課題・方向性	今後も取組を継続し、全小・中学校で確実に実施する。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	学校教育課
主要施策	人権・同和教育の推進					
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進					
施策の方向性	いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくり					
成果指標	いじめ解決の割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	継続	－	
事業内容・成果	各校の教職員をはじめ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員と連携し、早期解決にむけて適切に対応した。また、定期的なアンケートの実施で児童生徒の実態把握を行った。				評価	A
課題・方向性	いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくりを推進するため、心の教室相談員の研修にスクールソーシャルワーカーを参画させるなどの工夫を行い、子供を見守る関係職員の資質向上を目指す。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	保護者への家庭教育の支援					
成果指標	家庭教育学級の開催数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	13学級	9学級	13学級	20学級	201	
事業内容・成果	各PTA及び保護者会が主催する『家庭教育講座』に対し、講師謝金等の助成や講師選定の助言等を行い、家庭教育のあり方について、「親学び」の機会を提供した。				評価	B
課題・方向性	今後も、PTA及び保護者会と連携を図りながら、家庭教育のあり方について学ぶ機会（講座・学級）を提供する。また、本事業の活用推進を図るため、市内各小中学校PTA、幼稚園及び保育所（園）保護者会に対し周知を行う。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上						
主要事業	保護者への子育て支援						
施策の方向性	家庭教育講座開設						
成果指標	公民館における家庭教育講座開設数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	—	2講座	4講座	3講座	56		
事業内容・成果	地区社会教育講座において、料理教室やミニ門松づくり、ガーデニング教室を開設し、家庭教育について学ぶ機会を提供した。					評価	A
課題・方向性	地域ニーズ等の把握や各地区における社会教育講座との連携を視野に入れながら、公民館における家庭教育講座の開設について検討を行う必要がある。						

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上						
主要事業	P T A活動の活性化						
施策の方向性	P T A活動の支援						
成果指標	P T A研究大会及び研修会等の開催						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	3回	4回	5回	継続	1, 647		
事業内容・成果	西海市P T A連合会が主催し、会員間の連携・融和や資質向上と学校教育の充実・促進を図ることを目的とした会員研修会や各専門部主催の研修を開催し、会員相互の情報共有が図られた。また、新たな事業として、2月に活動推進研修会を実施し、長崎県生涯学習課職員及び西海市ファミリープログラムファシリテーターを講師として招いた。					評価	B
課題・方向性	今後も、西海市P T A連合会が開催する研修会等への参加をはじめ、P T Aの組織運営がスムーズに進むよう支援を行う。						

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年関係団体の活性化					
施策の方向性	青少年健全育成活動の支援					
成果指標	青少年健全育成事業及び啓発活動実施件数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	3回	4回	4回	継続	326	
事業内容・成果	西海市青少年健全育成大会や大鍋まつり、各地域でのイベントにおいて、「ココロねっこ運動」の啓発活動を実施した。				評価	B
課題・方向性	今後も、青少年健全育成を推進するため、関係団体と連携・情報共有を図りながら事業を展開する。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成						
主要事業	青少年関係団体の活性化						
施策の方向性	指導者育成の支援						
成果指標	指導者研修会の開催						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	2回	0回	0回	継続	－		
事業内容・成果	市内単位子ども会に対し、九州地区及び長崎県ジュニアリーダー研修会等の情報提供を行ったが、参加者はいなかった。また、市内で指導者研修会は実施していないが、長崎県ココロねっこ指導者研修会には市内から5名参加した。				評価	C	
課題・方向性	これまでは単なる情報提供に留まっていたが、今後は、提供範囲の拡大を含め、対象者の積極的かつ自発的な参加を促すような取組が必要である。						

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成						
主要事業	青少年の交流活動の推進						
施策の方向性	子ども体験活動事業の推進（西海市子ども夢基金）						
成果指標	子ども体験活動事業申請対象件数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	21件	22件	19件	26件	3, 053		
事業内容・成果	市民団体等が次代を担う子どもの健やかな成長を育むことを目的として行う事業（自然体験・科学体験・文化活動等）に対し、19件の助成を行った。				評価	B	
課題・方向性	今後も自然体験や文化活動等を通して、次代を担う子ども達の健やかな成長を育むため、本事業の積極的な活用について、幅広い周知活動を展開する。						

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成						
主要事業	青少年の交流活動の推進						
施策の方向性	交流及び体験活動の機会の提供						
成果指標	青少年を対象にした体験・交流事業						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1回	2回	2回	2回	—		
事業内容・成果	西彼青年の家主催事業である「子ども遊楽塾」に対し、職員の派遣協力を夏季12名、冬季8名（いずれも延べ数）を行った。また、市内単位子ども会へ本事業の情報提供を行い、市内児童から夏季2名、冬季9名の参加があった。				評価	A	
課題・方向性	今後も関係団体と連携・協力を図りながら、青少年の交流活動の更なる推進及び支援体制づくりに努める。						

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年の有害環境から守る取組の推進					
施策の方向性	有害情報対策の推進					
成果指標	有害図書類販売店舗等への立入調査への協力者数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	27人	28人	29人	継続	32	
事業内容・成果	「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（11月）」にあわせ、関係団体（機関）の協力を得ながら、有害図書类等販売店舗（コンビニ・書店・携帯電話販売店等）への立入調査を実施した。				評価	A
課題・方向性	今後も、有害図書类等販売店舗への立入調査と白ポストによる有害図書类等の回収事業を継続し、青少年の健全育成のために有害環境の浄化に努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成						
主要事業	青少年を有害環境から守る取組						
施策の方向性	メディア安全指導員の養成と利用促進						
成果指標	本市における長崎県メディア安全指導員の登録者数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1人	4人	4人	5人	－		
事業内容・成果	市内各学校から講演依頼があった際、メディア安全指導員を派遣し、情報メディアの適切な利用について講話を行っている。平成30年度は市内小中高校6校へ派遣を行った。					評価	B
課題・方向性	市内の資格取得者は4名であるが、県内他市町と比較すると割合は低い状況にあり、メディア安全教育の更なる普及を推進するため、資格取得支援を継続する必要がある。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	学校教育課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現						
主要事業	安全確保を図る地域ボランティアの育成						
施策の方向性	地域ぐるみの安全確保対策						
成果指標	関係機関やP T A等が協力して児童の登下校を見守っている小学校の割合						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	100%	100%	100%	継続	—		
事業内容・成果	学校及び保護者、地域ボランティアとの連携を図り、地域ぐるみの学校安全体制の充実を図った。					評価	A
課題・方向性	子どもたちが安心して学校や地域での生活が送れるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取組を一層充実する。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	学校の適正配置の促進					
施策の方向性	学校の適正配置の推進・統合に伴う環境整備の推進					
成果指標	小学校数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	14校	14校	13校	「西海市立小中学校適正配置基本計画」や地域住民等の意向等を踏まえた実施計画に基づいた学校数	269	
事業内容・成果	西彼地区において、亀岳小学校と白似田小学校を統合し、新たに「ときわ台小学校」を開校したことにより学校数が1校減少した。大崎地区（大島西小・大島東小・崎戸小）においては、学校のあり方を考える懇談会を設置し、協議の結果、審議会へ移行することの了承を得ることができた。また、大瀬戸地区においては、雪浦小学校校長及び大瀬戸地区行政区長代表との意見交換を実施した。				評価	B
課題・方向性	大崎地区においては、審議会を設置し複式学級の解消に向けた協議を進めて行く。また、大瀬戸地区においては、地域及び保護者の理解が得られていないことから、「学校のあり方を考える懇談会」を設置し、子どもたち並びに地域にとって望ましい学校のあり方について検討して行く。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	社会教育課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	放課後の子どもたちの居場所づくり					
施策の方向性	放課後子ども教室の開催、土曜学習の開催					
成果指標	人材バンク登録者数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	30人	33人	39人	継続	5	
事業内容・成果	放課後及び土曜日等に子どもたちが安全で健やかに過ごせるよう学校の 余裕教室等を活用して居場所を確保し、人材バンク登録者をはじめとする 地域住民等の参画を得て、放課後子ども教室及び土曜学習の充実に努 めた。 学校の余裕教室を活用した『放課後子ども教室』は、延べ4,378人の児童 が参加した。（内訳：西海東小学校2,257名、大島東小学校2,121名） また、市内各施設を活用した『土曜学習』は、延べ439名の児童が参加し た。（内訳：キッズ英会話コース283名、ふるさと体験発見コース156 名）				評価	A
課題・方向性	放課後子ども教室は小学校及び図書館の余裕教室を活用した事業を行っ ているが、実施場所が手狭で子どもたちの受入人数に限界があるため、 近隣の公共施設等の活用を検討し、事業の継続に努める。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	奨学資金制度の拡充					
施策の方向性	奨学資金制度の充実					
成果指標	西海市奨学生の新規認定者数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	1人	9人	12人	10人	－	
事業内容・成果	平成30年度新規奨学生として12名を決定し6,580千円の貸付を行った。併せて、昨年度からの継続者9名に対し2,940千円の貸付を行った。 また、償還対象者のうち16名から2,224千円の返還があった。				評価	B
課題・方向性	平成29年度に本市への定住促進策を追加するなど、奨学金制度の大幅な見直しを実施したことにより、利用者が増加してきている。そのため返還期限の徹底など債権管理に努めていく必要がある。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	学校施設の改修						
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造						
成果指標	学校校舎の大規模改造						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	19校／43校	24校／43校	25校／43校	31校／43校	118, 534		
事業内容・成果	学校トイレ改修事業として、西彼中学校校舎の生徒用、職員用トイレの洋式化改修工事と多目的トイレの設置工事を行った。					評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい学校校舎の内壁、床、給排水設備、機械設備、電気設備などの内部改修、外壁並びに屋上防水改修に向け予算確保に努める。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	学校施設の改修						
施策の方向性	屋外運動場の改修						
成果指標	屋外運動場の改修						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	3校／9校	3校／9校	3校／9校	6校／9校	0		
事業内容・成果	子どもたちが等しく体育活動に参加できるよう、学校屋外運動場の改修を計画的に実施するため、学校施設等現況調査を実施し、改修予定学校の状況把握に努めた。					評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋外運動場の改修に向け予算確保に努める。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	学校施設の改修						
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造						
成果指標	屋内運動場の大規模改造						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	6校／26校	9校／26校	9校／26校	16校／26校	0		
事業内容・成果	老朽化が著しい屋内運動場の改修を計画的に実施するため、学校施設等現況調査を実施し、改修予定学校の状況把握に努めた。					評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋内運動場の内部の改修、外壁及び屋上防水の改修、並びにトイレの洋式化等への改修に向け予算確保に努める。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校の温暖化対策					
成果指標	学校の温暖化対策					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	0校／12校	3校／12校 (0校/18校)	3校／12校 (0校/17校)	6校／12校 (17校/17校)	126, 374	
事業内容・成果	学校の温暖化対策として、普通教室に扇風機を設置することとしていたが、市内全小中学校の普通教室に空調設備を設置することへ施策の転換を行ったことから、空調設備設置に係る設計業務を行った。また、空調設備整備工事の契約を行い、令和元年6月末の完成に向け事業を繰越した。なお、成果指標については、施策の転換に伴い空調設備設置校数を（ ）書きした。				評価	A
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、令和元年7月から市内の小中学校の普通教室で空調設備が使用できるよう工事完成を目指す。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	学校情報通信技術の整備						
施策の方向性	教育ネットワークの構築						
成果指標	教育ネットワークの構築						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0%	0%	0%	100%	0		
事業内容・成果	西海市が平成33年度末までを整備期間として実施している「西海市光のみち構想（全市内光ファイバー化事業）の進捗を確認するとともに、教育ネットワーク構築へ向けた情報収集に努めた。					評価	B
課題・方向性	全市内光ファイバー化事業の進捗にあわせて、教育委員会と各学校間のネットワークの整備や校務支援システム、グループウェアの導入、学校における情報セキュリティの強化に向け予算確保に努める。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	教職員住宅の整備						
施策の方向性	教職員住宅の整備						
成果指標	教職員住宅の整備						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	90戸	94戸	97戸	102戸	158, 287		
事業内容・成果	土地の返還等に伴い住宅を譲渡した。また、教職員住宅が不足している西海地区へ1棟4戸の建設と、集合住宅3棟14戸の改修工事を行った。					評価	B
課題・方向性	教職員住宅が不足している地域に新たに住宅を整備するとともに、老朽化が著しい住宅を解体し、新築、改修するなど、引き続き住宅の整備に向けた予算確保に努める。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	教職員住宅の整備						
施策の方向性	教職員住宅の水洗化						
成果指標	教職員住宅水洗化率						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	68.90%	73.58%	83.18%	85%	決算額については、教職員住宅の整備へ計上		
事業内容・成果	水洗化が進んでいない老朽化が著しい住宅1戸を解体し、併せて土地の返還等に伴い住宅を譲渡した。また、教職員住宅が不足している西海地区へ1棟4戸の建設と、集合住宅2棟8戸の改修工事を行った。					評価	B
課題・方向性	水洗化が進んでいない教職員住宅について、引き続き新築、改修の機会を捉えとともに、水洗化の推進に向けた予算確保に努める。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進					
主要事業	文化芸術と触れ合う機会の創出					
施策の方向性	芸術と触れ合う機会の創出、文化施設の整備・活用					
成果指標	優れた文化・芸術に関するイベントの開催回数（年間）					
	現況値 （H27年度）	H29年度	H30年度	中間目標値 （H33年度）	決算額 （千円）	
	0回	1回	1回	1回	0	
事業内容・成果	3月21日に西彼杵高等学校と共催で「西彼杵高校文化部発表会 ～地域と共に歩む～」を開催した。また、西海市文化協会の主催事業や佐世保地域文化事業財団主催の「アルカスSASEBOファミリーコンサート」の開催を支援し、市民が優れた文化・芸術に触れ合う機会を提供することができた。				評価	B
課題・方向性	今後も文化協会など関係団体と連携して、優れた文化・芸術に関するイベントを開催し、文化の振興に努める。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進					
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の支援					
成果指標	全市的な文化祭等の開催回数及び入場者数（年間）					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	3回 2, 154人	4回 1, 450人	5回 2, 300人	3回 2, 370人	—	
事業内容・成果	西海市文化協会主催による第8回西海市文化祭（舞台発表・6月）、第8回西海市文化展（展示・11月）及び文化協会加盟団体による2018西海市民音楽祭(12月)の開催を支援した。また、新たな取組みとして、第1回さいかいミュージックフェスを開催した。				評価	B
課題・方向性	文化協会が主催する事業を支援し、市民の文化活動の活性化を推進する。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進					
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の支援					
成果指標	西海市文化協会への加入促進					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	560人	531人	518人	600人	6,835	
事業内容・成果	西海市文化協会への加入を促進するため、子ども対象の「夏休み子供芸術体験講座」や高齢者対象の芸術公開体験「出前講座」を実施した。また、広報紙・機関誌発行などの取組みを通じて、協会の魅力向上に努めた。				評価	B
課題・方向性	高齢化等により会員数が減少しているため、会員増加のための文化協会の各種事業を支援する。30年度は、さいかいミュージックフェスを開催した結果、団体数が増加しており、今後も新たな会員の加入につながる事業を支援していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用						
主要事業	文化財の公開・研究						
施策の方向性	歴史・文化の拠点づくり						
成果指標	(仮称) さいかい市民ミュージアム（博物館）の創設						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	検討委員会 からの 答申済み 0%	検討委員会からの 答申済み 0%	検討委員会からの 答申済み 0%	ミュージアム 準備室（仮） の設置 50%	8,957		
事業内容・成果	教育委員会に専門職員である学芸員を2名配置し、本市の地質や民俗の調査・研究を進め、その成果を歴史民俗資料館における展示や「ふるさと発見講座」などで、市民に発信した。				評価	C	
課題・方向性	歴史・文化の拠点となる施設を設置するためには、これまでの調査・研究の成果を含め、市民への啓発的な活動が今後必要である。 また、今ある本市の魅力を市ウェブサイトや市内3箇所の歴史民俗資料館を中心に市内外に広く発信していく。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	文化財の保存・活用					
施策の方向性	市民への啓発					
成果指標	西海史跡ガイドブック（『西海市の文化財』）の充実					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	1,000冊 作成	適宜追記・増刷	適宜追記・増刷	適宜追記・増刷	386	
事業内容・成果	平成30年11月2日の西海橋の国登録有形文化財の登録を記念し、西海橋建設の歴史や文化財的価値を解説した冊子『西海橋―地域を変えた夢の架け橋』を発行した。また、「さいかいふるさと発見講座」を全3回実施し、87名の参加があった。				評価	B
課題・方向性	『西海市の文化財』を発行後、新たに指定・登録された文化財があるため、改訂版を発行するための情報収集を継続する。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	文化財の保存・活用					
施策の方向性	保護・活用方法の検討					
成果指標	文化財の調査・研究着手件数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	2件	2件	2件	3件	4, 779	
事業内容・成果	7月18日に西海中学校3年生を対象として「恐竜に関する講演会」を開催した。調査中の化石については、崎戸歴史民俗資料館でのクリーニング調査の結果、海生哺乳類である可能性が高まった。また、2月24日に長崎県・佐世保市・西海市の共催で西海橋の国登録有形文化財登録記念事業を開催し、基調講演・パネルディスカッションでは西海橋の価値について情報発信を行った。				評価	A
課題・方向性	現在取組んでいる調査・研究について、市民の認識向上のために継続して情報を発信していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	伝統文化等の記録・保存件数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	13件	13件	13件	15件	0	
事業内容・成果	平成30年度中の伝統文化等の新規記録・保存は実施していない。 既存の映像記録を活用し、10月20日に土曜学習「平島探検」に参加した 児童を対象に県指定無形民俗文化財「平島のナーマイドー」を上映し、 ふるさとの歴史の学習を推進した。市内の伝統芸能団体に対しては、県 内外で開催される大会等の案内を行った。				評価	C
課題・方向性	少子・高齢化等の影響で伝統芸能の継承が困難となりつつある地域がある。 伝統芸能については、映像記録の制作や必要な道具の購入など保持 団体の状況に応じた支援に努めるとともに、郷土芸能等の映像記録を活用して、 西海市ウェブサイト等で市民への周知に努める。また、映像記録が未制作の無形民俗文化財について、 保持団体と制作の協議を進める。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用						
主要事業	地域伝統文化の継承						
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上						
成果指標	認定文化財の登録件数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0件	0件	0件	2件	0		
事業内容・成果	文化財として未指定の各地区にある文化遺産を継承すべく、西海市地域遺産に成り得る遺産を西海市文化財保護審議会において現地視察し、「横瀬郷の靈魂塚」の西海市指定有形文化財について協議を進めた。					評価	B
課題・方向性	西海市地域遺産について、市民間での認知度向上を図り、広く当該遺産候補を集う必要がある。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり					
成果指標	スポーツ教室等生涯スポーツ事業の開催数（年間）					
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	13回	15回	34回	20回	787	
事業内容・成果	平成30年度は、大瀬戸プールにおいて小学生を対象とした水泳教室、幼児を対象とした体操教室を実施した。また、西海市相撲教室、はつらつママさんバレーボールといった大きな事業も実施できた。加えて地域の要請に応じてスポーツ推進委員と合同で出前講座を行った。				評価	A
課題・方向性	平成30年度は大きな事業もあり参加者も多かったが、その参加者に競技者となってもらうことが課題である。スポーツ推進委員、体育協会と教育委員会が連携し、出前講座等に出向き生涯スポーツとしての競技者を増やしていく必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	生涯スポーツの推進						
施策の方向性	総合型地域スポーツクラブの設置と運営支援						
成果指標	総合型地域スポーツクラブ設立団体数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1 団体 (累計)	1 団体 (累計)	1 団体 (累計)	2 団体 (累計)	—		
事業内容・成果	現在大瀬戸地区に1団体設置し、陸上競技を中心に活動を行っている。西海市体育協会協力のもと、春季・冬季計2回のクロスカントリー大会に取り組んだ。					評価	C
課題・方向性	総合型クラブについては、体育協会の単協組織やスポーツ少年団などの組織が存在し、総合型クラブを推進していくメリットがあまり感じられないなどの意見がある。体育協会やスポーツ推進委員と連携して新たな総合型クラブの設置を検討していく必要もある。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	生涯スポーツの推進						
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり						
成果指標	アシスタントマネージャーの育成数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	2人	2人	2人	3人	－		
事業内容・成果	平成30年度は、アシスタントマネージャー養成講習会の受講者はいなかった。また、上級資格のクラブマネージャー養成講習会についても講習会場が東京などの都市圏のみでの開催となっているため参加者がいなかった。					評価	C
課題・方向性	総合型クラブの設置支援と併せて育成支援を検討する必要がある。アシスタントマネージャー養成講習会は、各県独自の開催が可能であり、有資格者の増加を目指す必要がある。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	スポーツ指導者の育成						
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上						
成果指標	スポーツ指導者講習会						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0回	4回	3回	2回	60		
事業内容・成果	スポーツ推進委員の資質向上のため、軽スポーツの実技講習会を実施した。 また、県北5地区スポーツ推進委員研修会、県女性委員会主管研修会への派遣を行った。				評価	B	
課題・方向性	生涯スポーツの推進の観点から全世代が行える競技を推進していく必要がある。スポーツ推進員を中心とした軽スポーツの普及に力を入れていく。						

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	スポーツ指導者の育成						
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上						
成果指標	スポーツ指導者講習会への派遣回数（年間）						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0回	0回	2回	2回	132		
事業内容・成果	スポーツ推進委員協議会主催の県、九州地区の研究大会へ委員の派遣を行い、委員の資質向上を図った。					評価	B
課題・方向性	西海市スポーツ推進委員会と西海市体育協会との連携を密にし、連携した事業を行う必要がある。様々な年齢層、競技層を活性化できる高いレベルの指導者の育成が必要といえる。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	スポーツ指導者の育成						
施策の方向性	「スポーツリーダーバンク制度」の確立						
成果指標	西海市スポーツリーダーバンク登録者数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0人	0人	0人	15人	104		
事業内容・成果	市民の体育・スポーツ活動の普及振興を図るため、スポーツリーダーバンク制度の導入に必要なスポーツリーダーバンク設置要綱を制定した。また、スポーツリーダーの募集及び登録について、広報誌等で周知を行った。				評価	B	
課題・方向性	スポーツリーダーを活用する団体がいるのかを把握する必要がある。スポーツリーダー10名の存在を周知し、さらにスポーツリーダーの募集とともに活用を行う依頼者を増やしていく必要がある。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	競技スポーツの推進						
施策の方向性	競技力向上を目指した各種講習会等の開催						
成果指標	西海市体育協会加盟団体数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	18団体	20団体	21団体	継続	－		
事業内容・成果	ウエイトリフティング協会が新たに加入し、21団体となった。					評価	B
課題・方向性	未加入の競技団体への加入を促進と、人口が減少する中で、競技人口をいかにして維持していくかが課題である。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興						
主要事業	競技スポーツの推進						
施策の方向性	上位大会出場者への支援						
成果指標	県民体育大会参加者数（年間）						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	240人	258人	228人	300人	－		
事業内容・成果	県民体育大会に、西海市体育協会を通じて228名の選手を派遣した。					評価	B
課題・方向性	人口減少とともに競技人口が減少している状況にある。西海市体育協会と連携し、競技人口の拡充を図り、競技力の向上を図る。						

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実						
主要事業	スポーツ施設の整備充実						
施策の方向性	スポーツ施設の整備						
成果指標	体育施設整備進捗率						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	22%	25%	30%	50%	130, 185		
事業内容・成果	老朽化した大島若人の森野球場の改修、亀裂が生じ立ち入り禁止となっていた西彼多目的運動公園園路擁壁の改修を行い、利用者の利便性を向上させた。					評価	A
課題・方向性	経年劣化による施設の老朽化が激しく大規模改修を伴う修繕が必要となってきた。廃止等も含めて体育施設整備計画を見直し、年次計画で整備充実を図る。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実						
主要事業	スポーツの推進体制づくり						
施策の方向性	情報提供の充実						
成果指標	スポーツ情報の提供（年間）						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	12回	8回	8回	継続	－		
事業内容・成果	市広報に5回、西海市ウェブサイトにて3回掲載を行った。 七釜鍾乳洞ロードレース大会の周知については、レース計測委託業者を通じて専用HPの開設やスポーツ情報サイトにて周知を行った。					評価	B
課題・方向性	広報掲載となると、イベント情報や大会結果の掲載に遅れが生じてしまい旬な情報の周知が難しいため、西海市ウェブサイト上のSaikaiブログ等を使い早めの情報周知に努める。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実						
主要事業	スポーツの推進体制づくり						
施策の方向性	関係機関との連携強化						
成果指標	スポーツ関係情報交換会開催回数						
	現況値 (H27年度)	H29年度	H30年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0回/年	1回/年	1回/年	1回/年	－		
事業内容・成果	西海市のスポーツ関係者（指導者、競技者、保護者）とスポーツの現状について意見交換を行った。 小学生社会体育と中学校の部活動等について活発な意見交換が行われ、現状と課題に関する情報の共有化を図った。				評価	A	
課題・方向性	小・中学生のスポーツ活動についての問題が多く提起されている。行政だけで解決できない学校教育上での課題が多くあることから、学校とも協調しながらスポーツ振興が図られるような取組みが必要である。						